

Satoyama Days

11月号

朝晩の冷え込みに冬の気配を感じる季節になりました。

11月号では、グローカルCITYプロジェクト環境保全シンポジウム、
Satoyama Days 花と緑の勉強会についてお知らせします。

グローカルCITYプロジェクト

環境保全シンポジウム「森から海へー 陸と海をつなぐ

(リッジ・トゥ・リーフ：陸と海を結ぶ持続可能な地域づくり)」

10月19日、包括連携協定を結んでいる上智大学アイランドサステナビリティ研究所との連携による環境保全シンポジウムを開催し、約50名（オンライン含む）の方が参加しました！登壇者には、上智大学教授ほか、森林再生やサンゴ再生に取り組むアルバ大学教授とNPO法人会長（アルバ）、コメントーターには、いなづさ林業とマリンネット下田の方々に登壇いただきました。森と海はつながっており、それぞれの美しさはそれぞれを保全することが大切というテーマの中、特に里山里海のコミュニティ、外部の力（関係人口等）をいかに生かすか、将来世代を見据えた行動、誰かがやってくれるではなく自らが動き出すことが大切といったワードがでました。今後、持続可能なまちづくりを進めていくため、産官学連携した地域一体での取組が必要です。



Satoyama Days 花と緑の勉強会

10月30日、Satoyama Days 花と緑の勉強会を開催しました。第1部の竹活用勉強会では、稻梓の山から採取した竹の有効活用を検討するため、竹の活用方法の1つである、竹パウダー製作の見学や竹チップ製作体験を、すぎのこ作業所にて実施しました。参加者は竹チップの活用の仕方や、竹1本からできるパウダーの量など質問をし、関心を示していました。第2部の稻梓の花と緑を考えるワークショップでは、花木チーム、農業チーム、林業チームに分かれ、各グループごと取り組めること、やるべきことについて、意見交換を行いました。3チームに共通して花、農地、山の管理方法、管理する人について議論されました。当勉強会には、稻梓住民他、大学の教授・学生、市内の稻梓地域以外の方も参加され、多様な意見が発言されました。今後も、幅広い主体の参画による活性化に向けた取組を実施していきます。



問い合わせ先

稻梓地域まちづくり協議会（下田市役所 企画課内）



0558-22-2212



kikaku@city.shimoda.lg.jp